

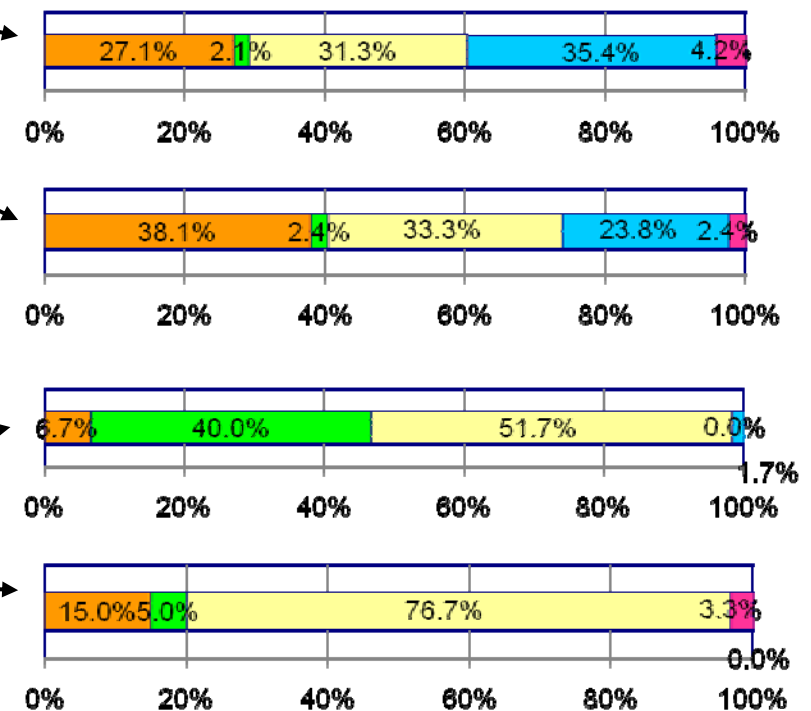
郵便等の差出実態(その1)

私人が郵便等を利用する理由としては、儀礼性・現物性と、代替手段の欠如が大きな割合を占めており、将来においても、儀礼性・現物性を有する基礎的な通信手段として、なお一定の需要が見込まれる。

受取人の種類と郵便物等の内容

友人・親族等へ (35.4%)	あいさつ、儀礼	48通	12.7%
	会合案内	17通	4.5%
	その他の連絡、情報交換	44通	11.6%
	物品の送付	25通	6.6%
官公署等へ (2.9%)	申請書等	5通	1.3%
	その他の連絡	5通	1.3%
	物品の送付	1通	0.3%
企業・店舗・学校等へ (61.7%)	申込書、届出書等	61通	16.1%
	アンケートへの回答	34通	9.0%
	クイズなどの応募	60通	15.8%
	通信教育	15通	4.0%
	通販の注文	20通	5.3%
	物品の送付	11通	2.9%
	支払手段	2通	0.5%
	その他の連絡	31通	8.2%

当該郵便物等を電子的手段で送付しなかった理由



【凡例】

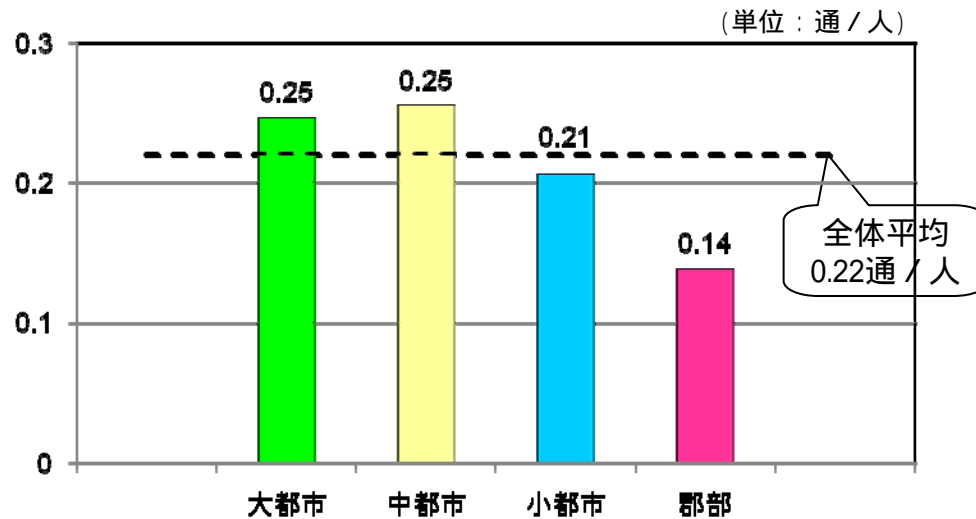
自分又は相手が電子的手段を利用不能、相手のアドレス不明
受取人払いのはがき等が用意されていた
現物そのものの送付が必要
丁寧さや礼儀の観点から その他

端数処理(四捨五入)のため、括弧内の数値と右欄各数値の合計値は一致しない。

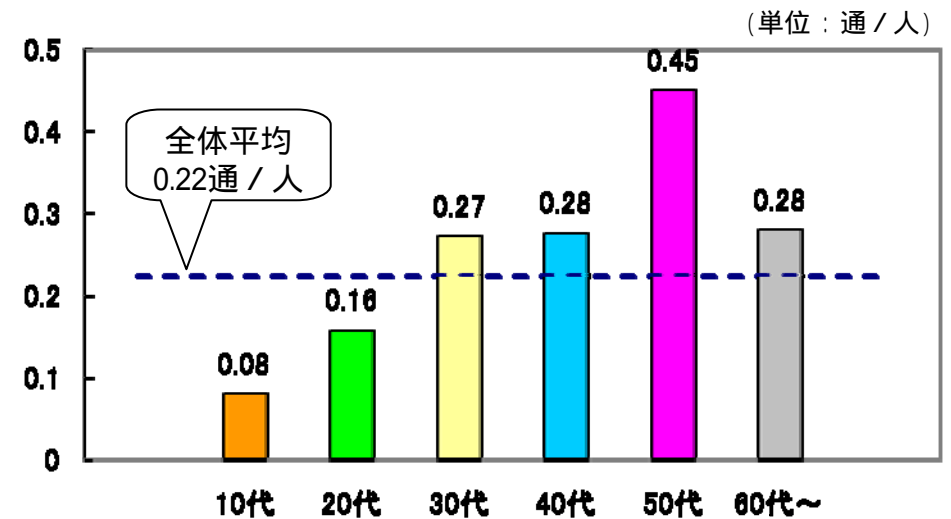
郵便等の差出実態(その2)

私人1人当たりの差出通数では、郡部や若年層において少ない傾向がある。

1人当たり平均差出通数(都市規模別)



1人当たり平均差出通数(差出人の年代別)



種類	大都市	中都市	小都市	郡部	合計
人数	443人	518人	555人	174人	1,690人
差出通数	109通	132通	114通	24通	379通
通数/人	0.25	0.25	0.21	0.14	0.22

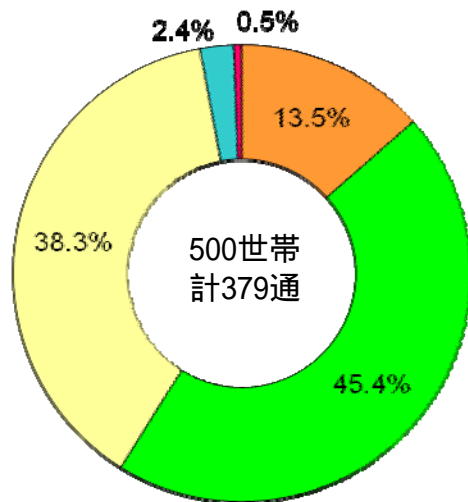
年代	10代	20代	30代	40代	50代	60代~	合計
人数	487人	261人	210人	254人	220人	258人	1,690人
差出通数	39通	41通	57通	70通	99通	72通	378通
通数/人	0.08	0.16	0.27	0.28	0.45	0.28	0.22

差出人の年代が不明な1通を除いている。

郵便等の差出実態(その3)

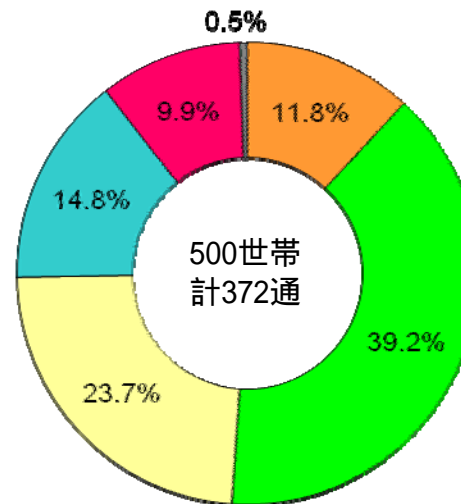
郵便等の差出方法としては、最も多いのはポスト投函(コンビニ内を含む)である(58.9%)。それらの差出時間帯をみると、9時～18時での差出しが77.7%を占める。また、差し出した郵便について、差出日から3日を超えての配達を許容するのは13.6%に留まり、ほとんどが3日以内の配達を期待している。

郵便等の差出方法



- コンビニ内のポスト投函
- コンビニ以外のポスト投函
- 郵便局
- コンビニ・取次店で手交
- 集荷
- 深夜早朝

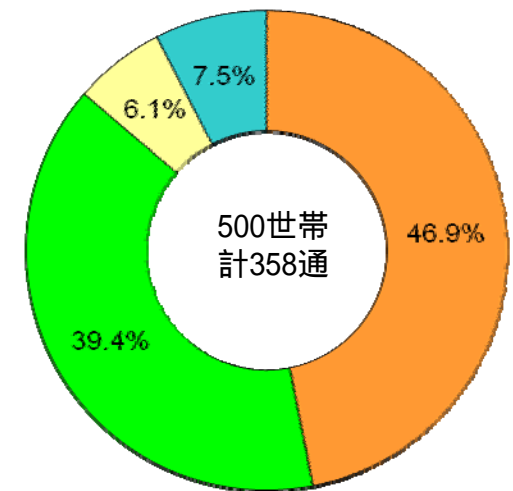
郵便等を差し出した時間帯



- 朝(6時～9時)
- 昼前(9時～12時)
- 昼過ぎ(12時～15時)
- 夕方(15時～18時)
- 夜(18時～22時)
- 深夜早朝(22時～翌朝5時)

差出時間帯が不明な7通を除いている。

差し出した郵便の配達許容日数



- 差出日の翌日か翌々日なら許容
- 差出日から3日後なら許容
- 差出日から1週間以内なら許容
- 差出日から1週間を超えても許容

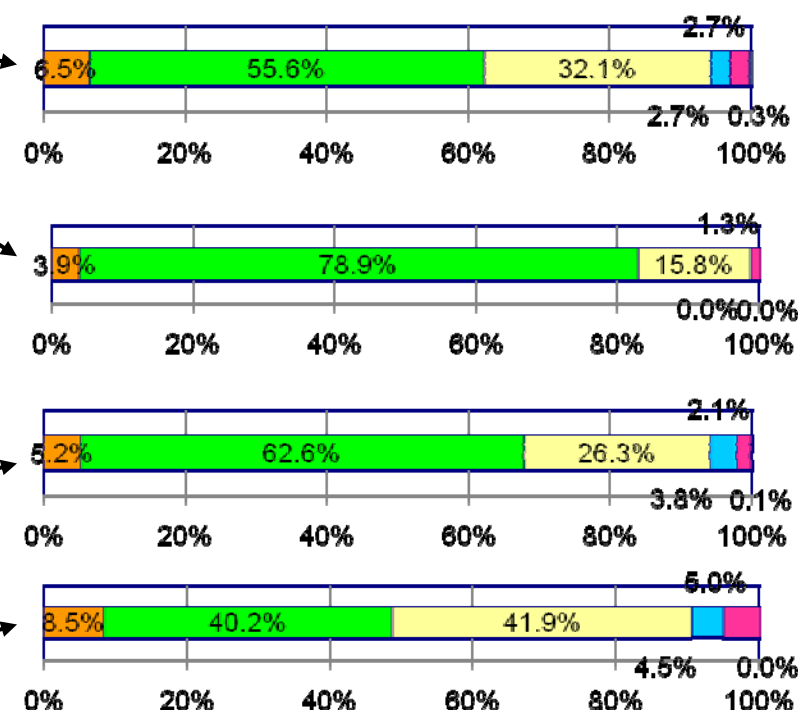
郵便等の受取実態(その1)

私人が受け取る郵便物等(差出しの約8割は企業等)の内容で、最も多いものは金銭関係(26.4%)である。また、現状で郵送等されているものを電子的手段で代替可とする受取人は少ない状況にある。

差出人の種類と郵便物等の内容

友人・親族等から (12.1%)	あいさつ、儀礼	293通	7.6%
	会合案内	53通	1.4%
	その他の連絡、情報交換	76通	2.0%
	物品の送付	49通	1.3%
官公署等から (4.0%)	免許証、証明書等	19通	0.5%
	各種連絡	130通	3.4%
	物品の送付	6通	0.2%
企業・店舗・学校等から (83.9%)	金銭関係の内容	1,024通	26.4%
	招待状、案内状、チケット	519通	13.4%
	カタログ、パンフレット	681通	17.6%
	ダイレクトメール	625通	16.1%
	通信教育	85通	2.2%
	金券・カード類、通販その他の物品	81通	2.1%
	新聞、雑誌	72通	1.9%
	その他の連絡	167通	4.3%

当該郵便物等の電子的手段での送付の可否



【凡例】

パソコン等を利用不能
どちらかといえば郵便等での送付を希望
どちらかといえば電子的な送付を希望
電子的な送付を希望

郵便等での送付が必要

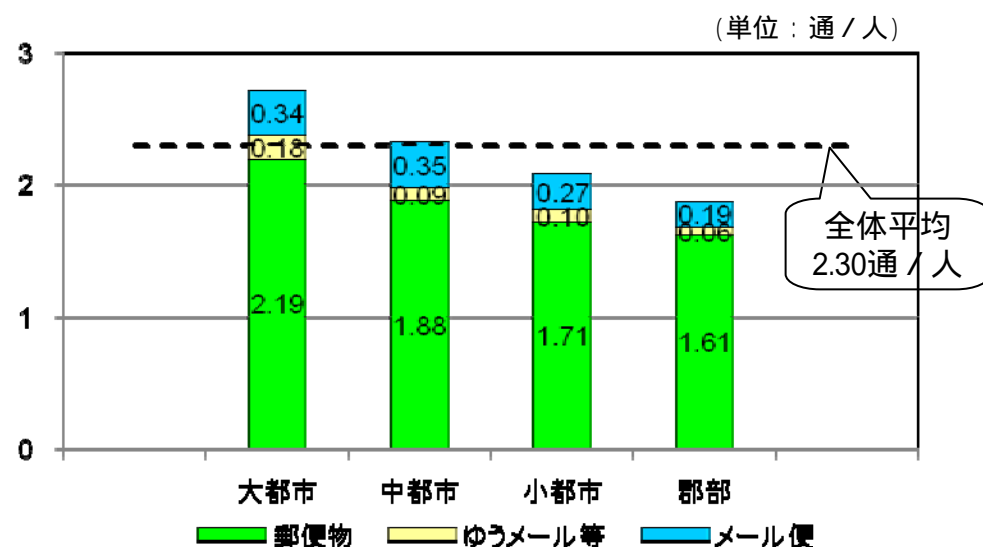
無回答

端数処理(四捨五入)のため、上記括弧内の数値と右欄各数値の合計値は一致しない。

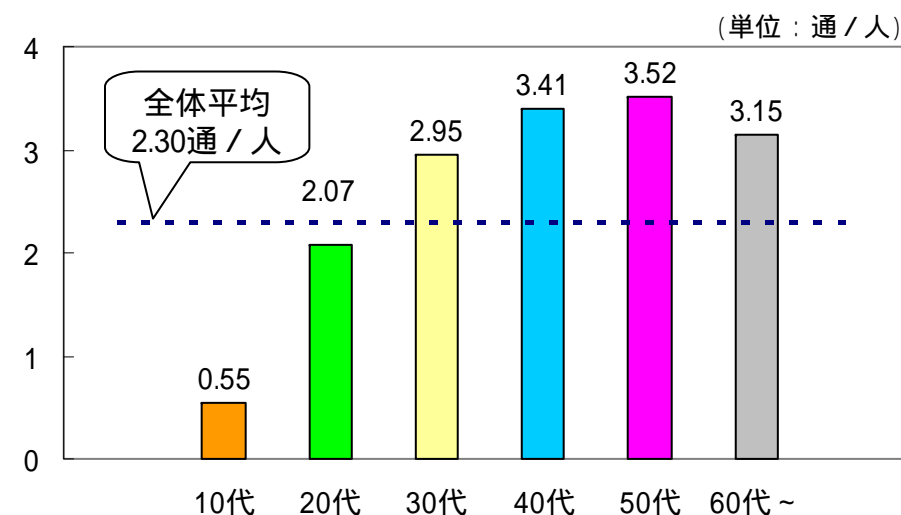
郵便等の受取実態(その2)

受取通数について都市規模別で比較した場合、都市と地方で顕著な差異は見られず、こうした利用実態からは、都市・地方の別なく全国での配達を引き続き確保することが重要。

1人当たり平均受取通数(都市規模別)



1人当たり平均受取通数(受取人の年代別)



種類	大都市	中都市	小都市	郡部	合計
人数	443人	518人	555人	174人	1,690人
受取通数	1,200通	1,202通	1,153通	325通	3,880通
通数/人	2.71	2.32	2.08	1.87	2.30

年代	10代	20代	30代	40代	50代	60代～	合計
人数	487人	261人	210人	254人	220人	258人	1,690人
受取通数	269通	540通	619通	865通	775通	812通	3,880通
通数/人	0.55	2.07	2.95	3.41	3.52	3.15	2.30

「ゆうメール等」：ゆうメール、EXPACK500、ポスパケット